

意見等

テーマに関する意見、現状、課題および要望などを記入してください。

(現状と課題)

- ・役員のなり手が少ない(いない) ・高齢化が進んでいる ・参加者が固定化している
- ・婦人会・青年団が消滅している

コミュニティを担う人材の不足

- ・コミュニティ活動がマンネリ化している ・グループ活動が少ない ・活動が見えない
- ・大人と子どもの会話や挨拶が少なくなっている
- ・行事への参加意識が低い
- ・コミュニティの必要性を感じていない人が増加している ・コミュニティに加入・参加するメリットが不明
- ・近隣住民との対話も少なくなっている

コミュニティの衰退、意識の希薄化が進んでいる

- ・市内各地で格差が生じている
- ・新旧住民の交流が難しい

新たなコミュニティとの交流不足

- ・市政情報に疎い
- ・能力を死蔵している人が増えている
- ・行政が強い

行政の取り組み課題

(定義)

- ・コミュニティは市民自治の基礎である ・小さな社会 ・世代間交流の場であり、共助の元
- ・コミュニティの力は自治体の力

コミュニティは自治の基礎力

(行政に期待すること)

- ・コミュニティ課などの設置
- ・いっそうの情報収集と発信
- ・補助金の支出
- ・話し合いの場、活動の場の設置
- ・立ち上げの支援、運営への関わり
- ・コミュニティリーダーの育成

(市民に期待すること)

- ・NPOで地域の昼食づくり
- ・顔の見える付き合いが大切
- ・行政との情報共有、団体同士の情報共有が大切 ・市民は市民活動をする団体をもっと知ることが必要
- ・協力体制づくりが重要 ・開放的な自治づくり ・新旧住民間差別のない地域
- ・地域住民への告知
- ・お互いを守りあえる地域
- ・参加しやすい体制づくり ・もっといろいろな行事等に参加する。 ・自主・自立への目覚め

共助のできるまち

あいさつの行き交うまち

実現するためには

- ・コミュニティは、まちづくりの主体となるべき
- ・コミュニティは、地域やテーマの現状などを適切な時期に市に報告するなど、市とコミュニティが情報交換を活発に行う
- ・コミュニティは、情報交換を活発に行い情報の共有をめざす

- ・市民は、コミュニティが地域で果たしている役割を認識し、多様なコミュニティがあることを認識する
- ・市民は、コミュニティ活動に積極的に参加し、協力する

市は、コミュニティセンターの充実、情報発信、活動の場の設置など、コミュニティを育てるために必要なあらゆる施策を講じる必要がある

- ・市は、市民の意識高揚を図り、コミュニティ活動に参加、協力できるよう努める
- ・市は、先進事例の情報を収集し、その紹介・PRなど適切な情報を提供する

市は、市民がコミュニティ活動の重要性を認識できるよう、コミュニティと市が共同して情報の発信を行う

- ・市民と市は、コミュニティの自主性、自立性を尊重する
- ・市民と市と一緒にあってコミュニティリーダー(面倒見がいい、行動力のある人)の育成に取り組む
- ・市民と市は、NPOなどのテーマコミュニティと地域コミュニティなどが意思疎通して共通の目的をもち、その実現を目指す

市民と市は、新たな住民が参加しやすい防災・防犯などのレクレーションや交流会活動などを通じて、開かれた、参加のしやすい体制づくりを行う

- ・市民と市は、コミュニティ活動を通じて、「共助のできるまち」「あいさつの行き交うまち」をめざす

まとめ

まちづくりは、担い手である市民の自主的、自立的な活動があってこそ活発化する。
地域に根ざした地域コミュニティと目的を共通にして活動しているテーマコミュニティは、ともに地域の意思を反映し、まちづくりを多様に支える役割と新たな公共を担う可能性を有し、重要なまちづくりの主体である。

コミュニティは、新たな人材の育成とともに、市民に対して開かれた、参加しやすい体制づくりに努める。
市民は、コミュニティが果たしている役割、重要性を認識し、積極的に参加するように努める。

市民、市、コミュニティは、互いの役割を認識し、情報交換を行い、連携・協力してまちづくりに取り組む必要がある。

市は、コミュニティの自主性・自立性を尊重しつつ、まちづくりの主体として守り育てるために適切な施策を積極的に講じる必要がある。